



建築研究所・政策研究大学院大学 共催シンポジウム 「住宅・建築・都市における持続可能なエネルギー需給」



趣 旨：ウクライナ情勢に端を発するエネルギー価格の高騰やエネルギー安全保障、またカーボンニュートラルの目標達成やそのための不安定な自然エネルギーの活用など、エネルギーを取り巻く環境が急激に変化しています。これまで、住宅・建築・都市サイドでは、省エネルギー化することによる需要の低減を中心に検討してきましたが、今後はエネルギー供給側の状況に対応していくことも重要と考えられます。本シンポジウムでは、住宅・建築・都市から見た持続可能なエネルギーの需要と供給のあり方について情報交換して、今後取り組むべき課題について考えます。

日 時：2023年2月1日（水）13:30-17:00

会 場：オンライン開催（ZOOMウェビナー：事前登録制）

主 催：国立研究開発法人建築研究所、国立大学法人政策研究大学院大学

後 援：（依頼中）国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人都市再生機構、独立行政法人住宅金融支援機構、国立研究開発法人科学技術振興機構、建築研究開発コンソーシアム、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人空気調和・衛生工学会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人日本建築センター、一般社団法人建築設備技術者協会、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター、一般社団法人日本建築構造技術者協会、一般財団法人ベターリビング、一般社団法人住宅生産団体連合会、一般社団法人エネルギー・資源学会

<プログラム>

13:30-13:35 主催者あいさつ：桑沢 保夫（建築研究所 持続可能プログラムPD）
高橋 正史（政策研究大学院大学 教授）

13:35-17:00 講演及びパネルディスカッション

13:35-14:35 講 演（第一部）

岩船 由美子（東京大学生産技術研究所 特任教授）
「カーボンニュートラルに向けた需要側の取り組み」

西村 陽（大阪大学大学院工学研究科 招聘教授）
「分散型電力システムの展望とエネルギー利用革新・市場活用・再エネバランシング」

下田 吉之（大阪大学大学院工学研究科 教授）
「都市のカーボンニュートラル化」

14:35-14:45 休 憩

14:45-16:05 講 演（第二部）

秋澤 淳（東京農工大学大学院工学研究院 教授）
「分散型エネルギーシステムと低質な熱源の有効利用」

浅野 浩志（岐阜大学高等研究院地方創生エネルギーシステム研究センター 特任教授）
「都市における持続可能なエネルギーシステムのデザイン（仮題）」

下田 英介（清水建設株式会社技術研究所エネルギー技術センター 主任研究員）
「建物における水素エネルギー利用の取組み」

富尾 剛至（大阪ガスマーケティング株式会社商品技術開発部リビング電力ソリューションチーム
マネジャー）

「家庭用燃料電池「エネファーム type S」を活用した系統需給調整への貢献」

16:05-16:15 休 憩

16:15-17:00 パネルディスカッション

— 住宅・建築・都市における持続可能なエネルギー需給について —

モデレーター：桑沢 保夫（建築研究所環境研究グループ グループ長）

パネリスト：岩船 由美子、西村 陽、下田 吉之、秋澤 淳、浅野 浩志、
下田 英介、富尾 剛至

17:00 閉 会

◆参加方法（事前登録制）◆ ※参加費無料

本シンポジウムは ZOOM ウェビナーで開催するため、PC、タブレット、スマートフォンにてご視聴いただけます（あらかじめ、ZOOM のアプリのインストールをお願いします。）。

ご視聴をご希望の方は、下記 URL・QR コードから、2023 年 1 月 31 日（火）までにお申込み下さい。なお、定員（500 名）により次第申込を締め切りとさせていただきますのでご了承下さい。

お申込 URL・QR コード

https://grrips-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_l8dCdCqtSlu5oAMTWpCSeQ



※ 登録が完了すると、ウェビナーから視聴用情報を記載した確認メールが送付されます。ご登録の際には、メールアドレスを正しく入力いただきますようお願いします。

※ また、シンポジウムの開催前に、ウェビナーからリマインドメールが送付されます。そのメールに記載の URL から講演資料をダウンロードいただけます。なお、資料は、1 月 30 日より公開予定です。ご了承下さい。

お問合せ

政策研究大学院大学 担当：高橋、黒子（E-mail: grrips.zizoku@gmail.com）

※本シンポジウムは、下記 CPD 制度の共通認定プログラムです。

建築 CPD 情報提供制度、JIACPD 制度、建築士会 CPD 制度、建築設備士関係団体 CPD 制度、APEC アーキテクト、APEC エンジニア、建築・設備施工管理 CPD 制度、JSCA 建築構造士更新評価点対象

講演者プロフィール



岩船 由美子 (いわふね ゆみこ)

東京大学 生産技術研究所 特任教授

専門分野：エネルギーデマンド工学

1991年 北海道大学工学部電気工学科卒業、同大学院工学研究科修士課程修了、株式会社三菱総合研究所、住環境計画研究所主任研究員を経て、東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了（工学博士）。

2008年東京大学生産技術研究所講師、2010年同准教授を経て、2015年より現職。電力・ガス取引監視等委員会等、国・地方自治体審議会委員を複数兼務。



西村 陽 (にしむら きよし)

大阪大学大学院 工学研究科 招聘教授、関西電力株式会社 シニア・リサーチャー、早稲田大学 先進グリッド研究所 招聘研究員、ERAB 検討会委員、次世代の分散型電力システムに関する検討会委員

専門分野：電力市場設計・分散型電力システム

1961年富山県生まれ。1984年一橋大学経済学部卒業、関西電力株式会社で調査、戦略、環境、マーケティング等を担当、現在 ソリューション本部シニア・リサーチャー。この間、学習院大学経済学部特別客員教授（専任）、関西学院大学経済学部非常勤講師、大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻招聘教授を歴任。



下田 吉之 (しもだ よしゆき)

大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 教授

専門分野：都市エネルギーシステム、エネルギー需要予測、建築設備・環境工学

1990 年大阪大学大学院博士課程修了。大阪大学工学部助手、大阪大学先端科学技術共同研究センター助教授などを経て、2007 年 12 月より現職。大阪大学総長補佐（サステイナブルキャンパスオフィス環境エネルギー管理部門長）を兼務。

地球環境産業技術研究機構(RITE)理事・研究所長、中央環境審議会臨時委員（地球環境部会）、日本学術会議連携会員、エネルギー・資源学会副会長を務める。



秋澤 淳（あきさわ あつし）

東京農工大学 大学院工学研究院 教授

専門分野：分散型エネルギー・システム、熱駆動ヒートポンプ、太陽熱利用
1961年生まれ。1995年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。1995年4月より東京農工大学工学部機械システム工学科専任講師。同助教授を経て2007年6月より教授。1999年4月より一年間、国際応用システム解析研究所（在オーストリア）訪問研究員。2019年4月より大学院生物システム応用科学府長。

吸着冷凍機など熱駆動ヒートポンプサイクル、太陽集光・集熱、コーポレーテーションを含む地域分散型エネルギー・システムの解析などの研究に従事。
日本機械学会、電気学会、日本エネルギー学会、エネルギー・資源学会、日本太陽エネルギー学会、日本冷凍空調学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会他の会員。現在、日本太陽エネルギー学会会長。



浅野 浩志（あさの ひろし）

東海国立大学機構岐阜大学 高等研究院 地方創生エネルギー・システム研究センター 特任教授、（一財）電力中央研究所研究アドバイザー、東京工業大学 科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所 特任教授、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 「IoE社会のエネルギー・システム」サブ・プログラムディレクター

専門分野：エネルギー・システム工学、電力システム経済学

1984年東京大学大学院修了。博士（工学）。エネルギー・システムの分析と評価に関する研究に従事。1988年米国スタンフォード大学客員研究員、1993年東京大学工学部助教授、2005年同大学院教授、2010年電力中央研究所社会経済研究所長、2011年東京大学大学院新領域創成科学研究科客員教授、2014年早稲田大学大学院客員教授を経て、現職。

第12代エネルギー・資源学会会長、電気学会上級会員、IEEE, CIGRE, IAEE会員

下田 英介（しもだ えいすけ）

清水建設株式会社 技術研究所 エネルギー技術センター 主任研究員

専門分野：エネルギー・システム、水素利用

2005年早稲田大学大学院理工学研究科電気・情報生命専攻修士課程修了。同年、清水建設㈱入社。マイクログリッド、BEMS（ビルエネルギー・マネジメントシステム）の開発を経て、現在、建物向け水素エネルギー利用システムの研究開発に従事。博士（工学）。





富尾 剛至（とみお たけし）

大阪ガスマーケティング株式会社 商品技術開発部 リビング電力ソリューションチーム マネジャー

専門分野：低圧系統連系用インバータ技術、家庭用コーチェネレーションシステム

1994年 大阪ガス株式会社 入社。

8年間の関係会社出向を経て、2002年から家庭用ガスエンジンコーチェネレーションシステム、家庭用燃料電池コーチェネレーションシステム、住宅用太陽光発電システム、住宅用定置型蓄電システムなど家庭用分散型電源の商品開発・技術開発に従事。2020年4月から組織変更に伴う業務移管で大阪ガスの100%子会社である大阪ガスマーケティングに出向、現職。